

「ロシアは直ちに撤退」

日本平和委 大使館前で宣伝



ロシアのウクライナ侵略開始から3年が過ぎた7日、日本平和委員会などは東京港区のロシア大使館付近の交差点で、横断幕やプラスタールを掲げて「侵略をやめよ」「直ちに撤退を」と、大使館に向けて抗議の声をあげました。外国人が手を振り、写真を撮るなど行き交う人の注目を集めました。

ロシアのウクライナ侵略開始から3年が過ぎた7日、日本平和委員会などは東京港区のロシア大使館付近の交差点で、横断幕やプラスタールを掲げて「侵略をやめよ」「直ちに撤退を」と、大使館に向けて抗議の声をあげました。外国人が手を振り、写真を撮るなど行き交う人の注目を集めました。

日本平和委の千坂純事務局長は、トランプ米大統領が侵略したロシアのプーチン大統領に寄り添って領土の返還を求めない和平を提唱し、ウクライナを攻撃していると批判し、「一刻も早くこの野蛮な侵略戦争をやめさせ、国連憲章と国際法に基づく公正な和平を実現するために声を上げ続けましょう」と訴えました。

日本平和委の岩月康範事務局長は、ロシアの侵略が、21世紀の平和の流れに逆行した軍拡の悪循環をつくりだしていると呼びかけ、歴史の流れの中で自身の立ち位置を読み取り、大統領や大臣に、攻撃を直ちにやめるよう進言を」と呼びかけました。

英語を交えながら「プーチン大統領にウクライナからの撤退を進言してください」と呼びかける参加者もいました。

大軍拡反対請願署名に応じる市民＝7日、東京・新宿駅東南口



法に基づく公正な和平を実現するために声を上げ続けましょう」と訴えました。

日本平和委の岩月康範事務局長は、ロシアの侵略が、21世紀の平和の流れに逆行した軍拡の悪循環をつくりだしていると呼びかけ、歴史の流れの中で自身の立ち位置を読み取り、大統領や大臣に、攻撃を直ちにやめるよう進言を」と呼びかけました。

英語を交えながら「プーチン大統領にウクライナからの撤退を進言してください」と呼びかける参加者もいました。

全労連や全日本民医連などでつくる憲法共同センターは7日、東京・新宿駅前で、改憲に反対する「9の日」宣伝に取り組み、大軍拡反対請願署名への協力を呼びかけました。寒風のなか立ち止まり、訴えを聞く人や「軍拡にお金を使うのはやめて」「敵対ではなく優しさあふれる日本に変えたい」と署名に応じる市民がいました。

軍拡にお金使わないで

ることの重要性を強調し子どもたちに平和な世界を手渡すために憲法がある。憲法を守ろう」と呼びかけました。

全国革新懇の小田川義和代表世話人は、平和・暮らしを壊し続ける問題に手をつけず衆院を通過した来年度予算案は修正の名に値しないと強調。「憲法をないがしろにする軍事国家化中止を」と一緒に声をあげよう」と訴えました。

署名した東京都杉並区の蓮尾公基さん(53)は「戦争は人権や命を犠牲にします。戦争国家」づくりなど自民党のやりたい放題にさせない」と語りました。

新日本婦人の会の福本中央常任委員は、物価高騰で暮らしが苦しくなるなか軍事費が毎年1兆円ずつ増えていると批判。憲法前文の「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにす

東京・新宿 憲法共同センター宣伝

東京電力福島第一発電所の事故以来、原発反対、原発廃止を訴える人々の週行動が、全国各地で粘り強く続けられています。これは京都の福知山市の皆さんの金曜行動です。

しんぶん赤旗 2025年3月8日



金曜行動600回

京都府・福知山市



毎週金曜の夕方30分、国道沿いの広場で宣伝を続けてきました。原発廃炉まで続けていく決意です。(1月24日)

ゆきとどいた教育を求めた署名提出集会＝7日、衆院第2議員会館



教育無償は人権

ゆきとどいた教育求め集会

全国署名274万人分提出

保護者や教職員でつくる「ゆきとどいた教育をすすめる会」は7日、衆院第2議員会館で、国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を求め、「ゆきとどいた教育を求めると全国署名」（教育全国署名）の提出集会を開きました。全国私学助成をすすめる会の「私学助成全国署名」228万4992人分と合わせて、274万4591人分となりました。

開会あいさつで教組共闘連絡会の宮下直樹代表幹事（全教委委員長）は「実質賃金の低下が子どもたちを直撃している。学校を舞台にしたテレビドラマでも、相

対的貧困を取り上げている」と指摘。「教育無償は世界の常識だ。人権なんだと声をあげるときだ」と強調しました。

全教千葉の浅野涼平書記長は「先生になり立てのときに20人の学級を受け持ち、ひらがなをなかなか覚えられない子どもと楽しく練習できた。少人数学級の教育予算を増やしたい」と発言。埼高教の小野知二委

物価上昇上回る額を

年金者組合が厚労省要請

倉林氏が同席

全日本年金者組合は7日、厚生労働省で、公的年金実質引き下げ撤回と物価上昇を上回る年金額引き上げを求めて、同省の伊原和人事務次官に要請書を手渡しました。「2025年度の年金改定は実質0・8%減額で、この13年間で実質8・6%減額だ。月額10万円未満

員長は「教員の未配置・未補充が広がり、全日制と定時制の授業をかけもち、深夜零時まで授業準備をする実態がある。正規職員を増やし非常勤職員を正規化するべきだ」と訴えました。

日本共産党、立憲民主党、社民党の国会議員が署名を受け取り、共産党の赤嶺政賢、辰巳孝太郎両衆院議員、倉林明子参院議員があいさつしました。

の受給者は2231万人を超える。安心して暮らせる年金の実現を」と訴えました。日本共産党の倉林明子副委員長が同席しました。要請では▽物価上昇を上回る年金引き上げ▽10万円以下の年金受給者に5万円の給付金支給▽消費税率5%への引き下げなどを求めました。



山宣のたたかいを引き継ぐことを誓う地坂氏
11月5日、京都府宇治市

治安維持法100年軍拡阻止へ

山宣墓前祭参加者誓う

京都・宇治

治安維持法の最高刑を死

刑に引き上げる改悪に、戦前の帝国議会でもただ一人反対し1929年、右翼に刺殺された労働党の代議士・山本宣治。その命日となる5日、出身地の京都府宇治市の善法墓地で、第96回墓前祭が行われました。

雨の中、200人が参加。山宣が命がけて反対した治安維持法施行から100年となる今年、その遺志を引き継ぎ、石破政権が進める大軍拡に反対し、憲法9条を生かした政治への転換をめざしたたかう「墓前の誓い」を確認しました。

の地坂拓晃書記長が「暗黒政治の下、反戦平和を貫き、凶刃に倒れた山宣の遺志を継いで、参院選で比例代表での日本共産党の躍進、京都選挙区で倉林明子の勝利に全力を挙げる」と誓いました。

山宣の孫の山本勇治さんから、山宣の次女の井出美代さんが今年1月24日に102歳で亡くなられたと報告がありました。

障害ある能登被災者とウクライナ支援したい

東京でバザー

能登半島地震で被災した障害のある人の作業所とウクライナの人びとを、手作りの帽子や洋服の販売で支援するバザーが3日から、東京都千代田区の東京交通会館で開かれています。

主催は大淵委佐子さん(76)。知り合いの作家10人以上に声をかけました。「能登の障害のある人の被害をだれもが忘れないために続けたい。ウクライナには鉄砲玉ではない生活支援をしたい」と話しました。

会場には着物や古着などをリメイクして作った洋服、帽子などを陳列。訪れた人は作家とやりとりしながら品定めしていました。

石川県七尾市などの4作業所も出品。木工製品などを販売した「共同作業所オーク(豊島区)の職員は「コロナのときは販売できなかったこともある。災害は人ごとじゃない」と話しました。

本紙記事(3日付)を読



大淵委佐子さん(右から2人目)とバザーに参加した作家たち11月4日、東京都千代田区